

里山から庭先まで

麻生にヤマユリを再生させましょう

ヤマユリ通信

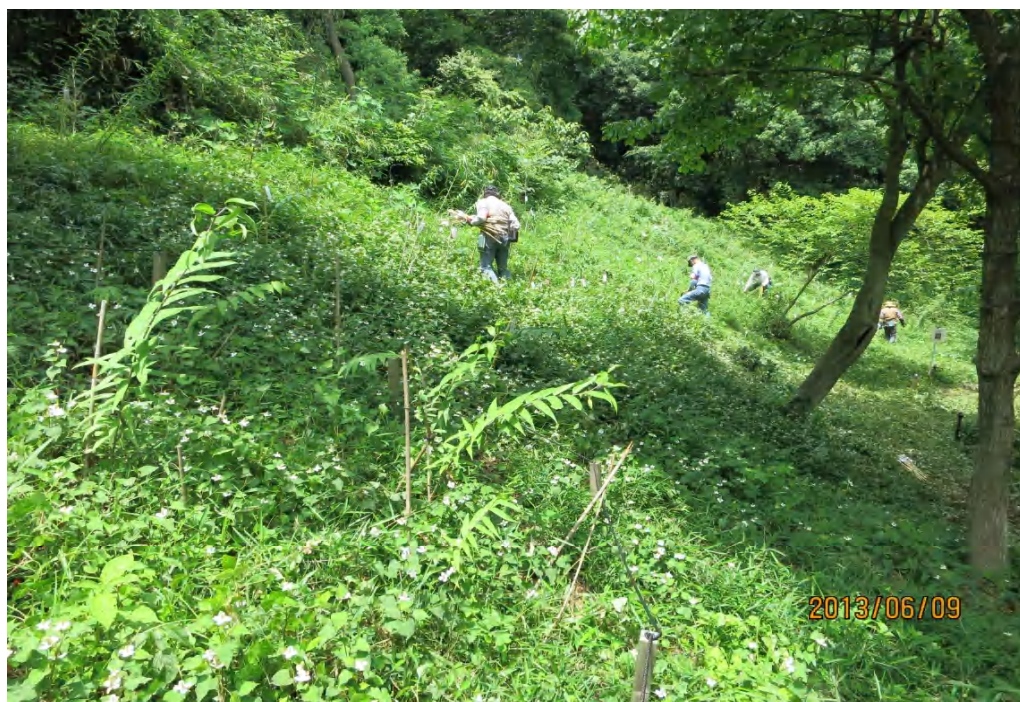
芽吹き号

Vol.5-1

麻生区地域課題対応事業 麻生ヤマユリ植栽普及会 H25. 6. 24 発行

◆もくじ◆

- ▶ヤマユリ散策案内： 7月初旬、麻生区の花“ヤマユリ”爛漫！・・・1
- ▶植栽地活動： 芽吹き時、植栽地での出会い・・・2、3
- ▶合縁奇縁：ヤマユリが咲くまで5年は生きてくださいネ・・・4



▲6月空梅雨、ヤマユリの植栽保全地「岡上梨子ノ木緑地」つる草除去作業

山百合のおのづからなる花の香も
松の戸もれて清き月夜か
『柿園詠草』(山家夏月) 加納諸平

散策案内

7月初旬、麻生区の花“ヤマユリ”爛漫！

7月、麻生区の花“ヤマユリ”が開花期を迎えます。区役所のロビーと広場で展示会を開催します。また植栽地には、散策の目印に「のぼり旗」を立ててご案内しています。

【開花展示会】

◆期間：7月2日～19日

◆会場：麻生区役所ロビー・広場

◆展示内容：実物のヤマユリ鉢、区内のヤマユリ開花マップ・ヤマユリの生育の仕方・開花写真などのパネル

【植栽地】 開花見頃は10日前後

△万福寺地区△おやしろ公園（十二神社東側緑地）

△王禅寺地区△王禅寺すぎのき緑地、下麻生まつのき緑地、王禅寺公園
△岡上地区△梨子ノ木緑地

注意：初夏の緑地散策には、飲み物の携帯、虫刺され予防、そして散策履き物で出かけましょう。



芽吹き時、植栽地での出会い！

王禪寺「木こりの会」新会長は、外人さんですよ



王禪寺地区の緑地で、わがヤマユリ植栽普及会のヤマユリ再生保全活動に協働して取り組んでいる「木こりの会」の代表ティム・レーボンさん。薪欲しさに入会と！ 陽気でウィットに富んだ53歳。今後の抱負などの話しを伺ってききました。

◆まずは簡単な自己紹介を...

出身は英国中部のレスターです。父親の仕事の関係で8歳まで中央アメリカのマラウイで暮らしました。その後英国に戻り大学卒業後、兄が日本にいたので、日本の語学専門学校に留学しました。それで日本で就職、現在は人材育成のコンサルタント業をやっています。

驚沼からここ王禪寺東に移り住んで12年。その間にオーストラリアで日本人の奥さんと結婚し、いまは毎日、ビールを水代わりに飲んでる2児の父親ですよ(笑)。

◆木こりの会に入会した動機は？

2005年入会ですが、ハッキリ言って不純な動機でした(笑)。日頃、環境問題に関心があり、自然に近い生活と考える家では、冷暖房は使っていない。薪ストーブです。その薪を手に入れるために入会したのでありますが、思ったほど燃料となる廃材が出ない。今では近所の農家にも頼んで貰っていますよ(笑)。

1週間もテント生活を楽しんだり、イギリスではボーイスカウト活動をしたり、自然や動物との触れ合いが好きでした。その体験の影響があるかも。

◆代表としてこれから抱負は？

あまり自然に手を加えるのではなく、自然そのままを・・・大切にしたいですね。機械での伐採や剪定などは最低限・・・うん、それから、昆虫や野鳥、小動物が集まる場所にしたい。

最近ではヘビを見かけない。寂しいですね。若い奥さんや子供たちに体験入会をしてもらい自然保護の大切さを知って欲しい。それと、他の地域で同じような活動をしている愛護会などとも交流を深めたい。いやあ、この活動でますます忙しくなりそうですよ(笑)。

(山田栄二・記)

新百合のお膝元の「万福寺おやしろ公園」

新百合ヶ丘の駅北口より徒歩約一〇分と当会の植栽地の中では抜群の地の利の良さを誇っています。津久井道脇の十二神社の東側の小高い丘の上にあります。

土質、日照の条件が整った良い植栽地です。平成20年から球根の植栽を始め2年後には東屋に抜ける散策路東側を整備し新しく植栽地にしました。翌年散策路の下側崖下にも植え付け、全部で百株を超えています。開花

中は、電車の窓からかいま見ることができそうです。

昨年協働活動をしている新百合山手公園管理運営協議会の働きかけで散策路の幅が広くなり、斜面に階段が作られ、縄張りがされ、大変歩きやすく整備されました。麻生区の花にヤマユリが決まり区民の関心が高まるなか、七月上旬から中旬にかけてむせかえる芳香のなか優雅な大輪の花が順番に咲くのが期待されます。

生区のいたるところに咲いていたといわれる自生地に一歩近づいたと思います。ただヤマユリの育つ環境の整備はどうしても人の手が必要になります。伸びすぎた下草を刈り、ヤマユリに巻きつくつる草を根から取り除く、さらに病害虫の対策などの管理保全のための作業を、毎月の第4日曜日を定例活動日と決めて行っています。ヤマユリとの出会いを求めて出かけてみませんか？

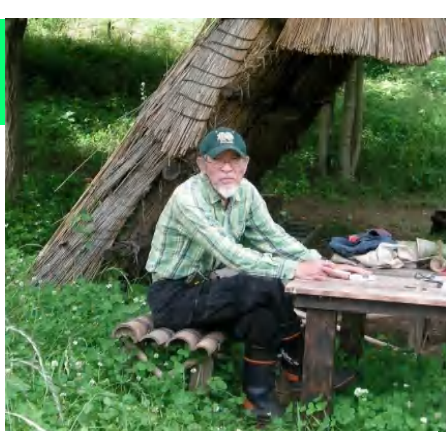
(福井捷介・記)



咲き終わると次世代に命を引き継ぐように木子(ヤマユリの小球根や種子を作り身を削って数年で消えます。球根を植え続けていただけでは本当の自生地にはなりません。嬉しいことに今年初めて木子からの発芽が数本見られました。かつて麻



<植栽地活動>



▲加藤さんお手製の茅葺き小屋の前で

今回はいつもの植栽活動報告とはちよっぴり趣を替え、緑地の紹介をしたいと思います。

梨子ノ木緑地のある岡上は、川崎市の飛び地として有名です。岡上の南端に位置し、横浜市と接する緑地の広さは1・8ヘクタール。昔風に言えば、なんと約5,500坪となります。ひとつの緑地の中に森林と草地、乾燥地と湿地が混在する変化に富んだ緑地でもあります。

この緑地を管理するのがNPO「かわさき自然と共生の会」。会員が約100名で、平成17年3月から活動しています。その中で「梨子ノ木の主(ぬし)」とも言われ、

「岡上梨子ノ木緑地」の主に出会った！

雨が降らなければいつもここに来て作業しているという同会理事の加藤雅大さん(70歳)に、春から夏にかけての緑地の魅力をお聞きしました。

「フキトノトウやツクシがすっかり塔立ちする4月から5月は緑地が最も美しい新緑の季節。クヌギ、コナラ、エノキなどがいつせいに芽吹き、コブシやカシワの花が見事です。」

夏はなんといっても7月のヤマユリが一番ですが、クヌギ林があるので子供さんにはカブトムシなどの昆虫捕り、それと市街地と比べて気温が確実に2度は低く、風がよく通るので、日がな一日ゆつくりと涼みに来てもらいたいね」一息ついて「そうそう、昨年の夏、ススキヶ原でナンバンギセルという植物が見つかりました。花のことは詳しくないのですが、なんでも、万葉集にも出てくる希少植物だそうです」

8年前は樹木が鬱蒼と茂り、悪名高き違法投棄の場所だったのですが、加藤さんたちの枝おろしや植樹、整地作業でみご

と里山にみえり、川崎市や神奈川県、国土交通省からも表彰されたと

か。

緑地全体に遊歩道が張り巡らされ、南側のススキヶ原には手製の茅葺小屋と鯉のぼり、北の小高い丘には舞台付きの憩いの場が。そして道路を挟んだ東側には完全有機で野菜を作る圃場(ほじょう)まで設置されています。



▲希少植物・ナンバンギセル

☆

「ここまで来るのは大変でした。みんな素人ですからね。遊歩道整備ひとつとっても一日3mしか進まないんですよ」

人の手が入らないと里山は原野に戻ってしまう。緑地のひと隅を借りてヤマユリを植栽再生している我々には、計りがあつたようです。素直に感謝！です。

(高橋雄介・記)

麻生市民館の裏庭でも咲く



毎年、ヤマユリの植栽講習を麻生区役所の会議室で開催しています。4年前のこと女性会員より、「この窓からヤマユリが咲いているのが見えた、素敵ね！」から窓越しに見える斜面の崖に、種から育てて咲かせてみた

と、女性陣だけで始めました。

この斜面のほかに、種から育てる育苗地として駐車場の西、市民館裏の柵下の空き地に、文化会館の了解を得て、植栽することにしました。

◆市民館裏の柵下

この斜面のほかに、種から育てる育苗地として駐車場の西、市民館裏の柵下の空き地に、文化会館の了解を得て、植栽することにしました。

手作業で木の根を抜き、雑草を刈り取り、種を蒔きました。

知人から譲り受けたサツキを、夏の暑さ避けに育苗地の周囲に植樹したところ、4月から6月頃まで、赤い花

が咲き、辺りを明るく彩ってくれています。

◆図書館前の斜面

区役所の3、4階の窓から見える斜面は、日差しが当たり過ぎるため、図書館の西側の斜面に球根を植えて、今年は、25本くらい立ち立っています。

市民館2階の和室や調理室の窓から見えます。



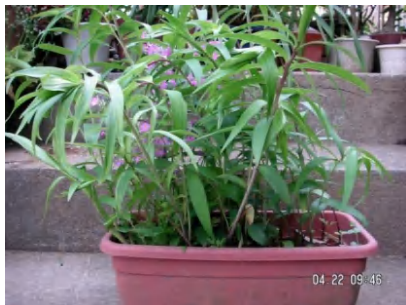
この季節、病害虫の被害に遭いやすく、また、毎年、葛のつるが巨蜘蛛の巣のようにはびこるため、かたい根っこから抜き取る作業が大変です。

でも今年、種からのヤマユリの大輪の花を見たら「ヤッター」とみんなと笑顔で叫びたい。

(島田由江・記)

ヤマユリが咲くまで5年は生きてくださいネ

岡上・梨子ノ木緑地をサポートしている「かわさき自然と共生の会」会員・武生玉江さん(77歳)から、素敵なお話をいただきました。



岡上の作業にはなかなか参加できないのですが、4月は年に一度のお花見会なので出かけてきました。今は圃場になつていて、今頃は花が咲き始めています。花が咲くまで最低5年は生きていてくださいネ」と言われまして、その時は単なるダジャレだと聞き流していたのですが、昨年5本が花をつけました。

なぜ、2007年だとハッキリ覚えていたのかというと、その年、私は癌にかかったのです。講師の方に、「ヤマユリの種は咲くまで5年掛かります。ですから花が咲くまで最低5年は生きていてくださいネ」と言われまして、その時は単なるダジャレだと聞き流していたのですが、昨年5本が花をつけました。

癌のほうも、5年再発しなければ大丈夫だと言われていたのですが、「きつと花を見せてね」と話しかけてきたのですが、本当に5年目に花をつけてくれたので、「もう、うれしくって...」

5年間、ほとんど手もかけず、肥料も主人が何回か腐葉土を与えてくれただけで、そっとしておきました。だから「ホラ、隣の花鉢の種がこぼれて、混植してるように見えるでしょ」かえってそれが良かったのかもかもしれませんね。

ああ、それから思い出しました。その年の7月、ヤマユリ植栽普及会に誘われて、梨子ノ木緑地の花好き仲間・谷本さん、若林さんなどと東松山の森林公園のヤマユリ見学会にも参加しました。とても、きれいでしたねえ。

今年、もう一度、花を咲かせてくれたら、お礼のために梨子ノ木緑地に返してあげようと思ってるんです。

もう歳なので、なかなか梨子ノ木緑地にも出かけられませんが、緑地でもっと立派な花をつけ、たくさんの人たちを楽しませてくれることを願ってますね。(高橋雄介・記)

そうなんだ 問答

これまで、ヤマユリの特徴として花弁は、6枚ではなく3枚であることなどを紹介しましたが、今回は、葉の形状について見てみましょう。

左の2枚の写真の葉を見比べてください。いずれもヤマユリの茎立ちした株です。

右側のものは、葉がシダのように茎の左右に平たく付いています。左側のものは、茎の周りを回るように交互についています。

どうしてでしょう。葉が右側のような付き方の株は、芽

吹きしてから比較的若い4、5年までに見られます。また、日陰や斜面で育つ株にもこの傾向があります。

左側の写真は、葉が茎の周りを螺旋状に、ほぼ120度ずつずれて付いています。これは、ヤマユリの特徴のひとつで、蕾を5、6つ付けるように生長した株に見られます。また、平地に育つ株にも多く見られます。

会員募集中

地域のボランティアのみなさんと一緒に「ふる里自慢」のヤマユリに親しみながら緑地で汗を流しませんか。

年会費：1,200 円
 定例会議：原則、毎月第2木曜日 午後2時～4時
 会場：交流館 やまゆり
 植栽活動：指定の各緑地（月に1回～2回）
 ★問合せ・連絡先：当会会長（事務局）貞本 勉
 TEL：090-7175-4995
 E-mail：tsutomu.sadamoto@nifty.com

行事予定

7～9月の主な予定

7月2日～7月19日：ヤマユリ開花展示会（区役所ロビー）：ヤマユリ鉢植えの実物、写真パネル
 7月：ヤマユリ開花マップ調査
 9月末：広報紙「ヤマユリ通信 開花号」発行
 7月～9月： ヤマユリ植栽活動（5か所）